

平成25年度事業計画

1.はじめに

我が国は少子高齢社会が急速に進展する中、高齢者が社会の担い手として社会参加し地域社会の発展に寄与することが求められています。

このような中、シルバー人材センターの果たす役割はますます重要となってきていますが長引く景気の低迷等による事業実績の停滞傾向と、国の補助金の大幅な削減によりシルバー事業の現状は厳しさを増しています。

高齢社会の受け皿となるシルバー事業を自立した事業として今後益々発展させていくためには、昨年度策定した第3次中期事業基本計画をふまえた公益性の高い事業展開及び、公益法人としての健全性を保ちながら、会員の増強及び就業機会の拡大による事業量の増加に一層力を入れていかなければなりません。更に、今年度は安全就業対策も強化し、就業中の重篤事故の撲滅に組織を挙げて取り組む必要があります。

地域社会から信頼される公益社団法人として、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、高齢者の知識・経験を活かすことのできる就業機会の確保に努めるとともに、ボランティア活動等の地域社会参加活動を積極的に推進することにより、活力ある地域社会づくりに貢献するため、会員及び役職員が一体となって次の事業に取り組んでいきます。

【目標数値】

| 区 分 | 会員数 | 受託・派遣事業 総実績 | 傷害事故件数 | 賠償事故件数 |
|------|------|----------------|--------|--------|
| 目標数値 | 727人 | 263,500千円 | 7件以内 | 5件以内 |

2.基本方針

- (1) 高齢者に適した就業機会の確保及び提供を行う。
- (2) 高齢者の就業に必要な知識及び技能を付与するための講習を行う。
- (3) 高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行う。
- (4) 高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業を行う。
- (5) 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化を図る。

3.事業実施計画

(1) 就業機会提供事業

①雇用によらない就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を一般家庭、民間企業及び公共団体等から有償で引き受け、能力、希望等に応じて請負または委任という形式で就業機会の提供に努める。

また、今年度は鳥取市営鳥取駅高架下第 1、第 2 自転車駐車場（駐輪場）の指定管理者としての期間が 5 年目を迎え満了する。次期の指定管理者選考に応募し、高齢者の知識・経験等を活かした施設の管理運営が引き続き行えるよう、就業機会の確保・提供に努める。

②雇用による就業機会の提供

ア 無料職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る求人を受け付けこれらの仕事を希望する高齢者に、無料の職業紹介による就業機会の提供を行う。

イ 一般労働者派遣事業の受託業務

鳥取県シルバー人材センター連合会との委任契約による一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）を行い、事業所との連絡調整及び派遣就業を希望する会員へ就業機会の提供を行う。

(2) 研修・技能講習事業

シルバー事業の基本理念及び仕組み等に対する理解を深めるための研修会の開催及び就業に必要な技能や知識を習得するための講習会を開催し、技能向上を図る。

(3) 安全・適正就業推進事業

高齢者の就業にあたっては、安全就業が基本であり、事故防止対策には組織をあげて取り組む必要がある。重篤事故等の撲滅に向けて事故事例を「他人ごと」ではなく「自らのこと」として共有し自己管理能力を養う。また、交通法規遵守の徹底及び就業形態の適正化に努める。

(4) 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業を広く PR することにより、就業等を通して社会参加を希望する高齢者に対する入会の促進をはかるとともに、地域社会にシルバー事業が正しく理解されるよう普及啓発活動を積極的に行う。

(5) 就業分野の開拓・拡大事業

一般家庭、民間企業及び関係団体等に高齢者の就業について社会的意義の理解を求めるとともに、地方公共団体との連携を深め高齢者の希望に応じた多様な就業機会の開拓に努める。また会員ひとり一人が就業開拓に取り組むなどし、会員の運営参画による就業機会の拡大に努める。

(6) 福祉家事援助・子育て支援事業の推進

高齢者が長年培ってきた豊かな経験と知識を活用し、地域社会の要望を踏まえながら地方公共団体と連携した地域密着型の事業を展開し、女性会員の就業場所の拡大を図るとともに地域社会に貢献する。

(7) 社会参加活動推進事業

社会参加の推進を図るため、地域班組織が中心となりボランティア活動を行うとともに就業することに加え社会奉仕活動にも積極的に参加し、地域社会に貢献する重要性について個々の会員の意識の啓発に努める。

(8) 調査研究事業

事業実績等各種データの集計及び分析を行うとともに、発注者に対するサービス内容の改善及び新たな就業機会の開拓のための調査研究を行う。

(9) 相談、情報提供事業

入会を希望する高齢者のため毎月2回入会説明会を実施し会員拡大を図るとともに、就業に関する相談及び定年後の就業や社会参加を希望する高齢者のための情報提供を行う。

また、用瀬取次所を活用して地域住民への情報提供や地域活性化のためのイベントを行うなどしてサービスの向上に努める。

(10) 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化

①理事会、専門部会及び各委員会等

公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動と機能充実に努める。

②地域班・職群班活動

会員相互の連帯意識の高揚、就業面での協調性及び就業ルールの徹底を図るために重要である地域班、職群班活動が活性化するよう会員意識の高揚と班会議への出席率の向上を促す。

③事務局体制の強化

事務局は、高齢者の就業意向や発注者からの仕事の依頼など、重要な情報が集まる場である。発注者や高齢者の期待に応えるため、職員が自らの使命と役割を再認識し課題の解決に取り組むとともに、各種研修会にも積極的に参加し効率的な事務処理と事務能力の向上に努める。

④安定した財政運営の推進

センター運営費の大半は鳥取市と国からの補助金であるが景気の低迷、国の補助金交付要綱の見直し等により財政状況は厳しさを増している。自主財源を確保するため受注拡大による事務費収入の確保と、事務機能の効率化及び必要経費の見直し等を行い安定した財政運営に努める。

また、公益社団法人として適正な事業支出に努める。